

大きく成長して…巣立った

▼やよい3月、まだ桜はつぼみのなか、コロナ禍が昨年5月に5類に移行後初の門出。庚午中学校、草津小学校の卒業式…卒業証書授与式が行われた。▼庚午中学校では3月7日(木)、240名が巣立った。寺川校長は、「幾多の困難があろうともオンリーワンを目指せ」とはなむけの言葉を贈られた。▼3月19日(火)、草津小学校では4組124(男子55、女子69)名が、学び舎を後にした。細川校長は「失敗を恐

れるな。あきらめた時が失敗である」と何事も前向きになるように訓示された。なお、細川校長は4月から比治山小学校へ転任される。▼両校で手渡された卒業証書は、平和公園・折鶴の像にささげられた折紙で作られている。▼草津保育園の卒園式は、3月23日(土)30名が卒園した。この内草津小学校へは10(男子7、女子3)名が入学予定。



左:草小での最後の証書手渡し 細川校長先生 下:出金と別れの曲♪「絆を力強く合唱



#26275号の証書を手渡す 寺川校長先生

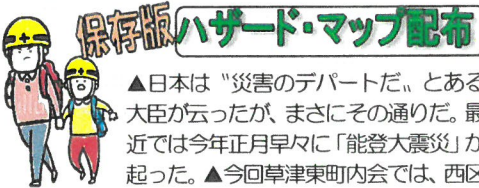
「10年後の自分へ書きつけた自分は何にしているかな? イエツ!



「野球をしようぜ」のメッセージと一緒にグローブ(右用2つ、左用1つ)が草小に到着。左:細川校長と下平振興会長 大谷グローブ

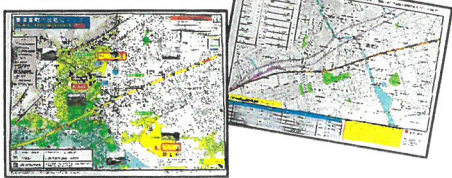


草少吹奏楽部、オープニング曲「翔野の七人」は素晴らしい!



保存版ハザード・マップ配布

▲日本は「災害のデパートだ」とある大臣が云ったが、まさにその通りだ。最近では今年正月早々に「能登大震災」が起きた。▲今回草津東町内会では、西区防災関係部署と連携し、保存版・防災マップ=ハザードマップを作成しましたので、各戸に配布いたします。裏面には、草津・庚午南地の「海拔図」と「緊急避難場所」並びに草津地区の「過去の災害記録」を載せました。備えあれば憂いなし。



戸別配布する「保存版ハザード・マップ」の表裏

特別講演

広島と西国街道

★草津本町にある教専寺の「春の彼岸法座」に合せて、「広島と西国街道」の特別講演会が3月20日(水)に行われた。講師は広島城学芸員 本田美和子さん。★江戸時代からの草津村を通り抜ける西国街道の成り立ちや開拓と草津村の様子を話された。街道の幅が2間半約4.5m、草津村には旅人を休憩させる「問宿あいしゅく」があった。草津東三丁目(旧「鍛冶屋町」と呼ばれていた)はその名残かと思いはせられた。★勝海舟が活躍した江戸後期文政年間(1820年代)の草津一帯の開拓がわかる配られた地図に大変興味を湧いた。



馬酔木(あせび)

★馬酔木(別名あせび)春に、多数の白い花が房状につく。有毒。馬が木の葉を食べると、足がしびれて動けなくなるからこの名がついた。花言葉は「献身」。

★大手製菓会社の紅麴で作ったコレステロールを下げるサプリメントで死者も出る健康被害が発生した。未知のカビ毒が原因というが、CMで宣伝されるサプリメントは安全なのか、着色された加工食品にも疑心暗鬼が生じる。

★人手不足から2024年問題として今日から働き方改革で、建設業、自動車運転業、医師などに残業規制が導入される。さらに人手不足、景気の減速が懸念され、ネット購入宅配便の無料化はなくなるかも。これもひとえに人口減少が遠因か。しかし我ら日本人は過去もそうであったが、創意工夫してこのピンチを必ずや切り抜けると確信する。★男性用のDV被害シェルターが普及されるらしい。ついに男性が女性に降参する時代になったのか…。情けない。大和男子はどこに行ったのか。(こんなことをいってジェンダーの世の中異論もあるが…)。

★大谷も世間知らずだったのか。飼った犬に手をかまれて。スキャンダル無縁と思っていたのに。★カーブへの評論家たちの下馬評はよくて3位、大方は5位。2外人が期待外れ? 長距離砲がないと優勝は無理かも。昨年はCSまで行った。まだレースの幕が上がったばかりだ。新井さんのみませ! (写真:西区田方・海蔵寺の馬酔木)



教専寺本堂にて 円内は講演中の 広島城学芸員 本田美和子先生

おねがい 弁天さんへのご浄財について

●草津東三丁目にあり ます鷲森神社・通称「弁天さん」の倉庫の瓦屋根が傷み、雨漏りがひどく保管品が腐敗しています。先月やむを得ず工事をいたしました。●しかし、会計に貯えが少なく、工事費用約85万円のうち、少なくとも40万円を皆様からのご浄財をお願いしたいと存じます。●つきましてはご賛同、ご協力いただける方は下記までご連絡頂ければ、お伺いいたします。よろしくお願ひ申し上げます。(鷲森神社保存会会長柳原民義) 連絡先: ●梶原 082-271-2877・山口 082-274-271-3071 ●倉田 082-274-5432



弁天さん倉庫の瓦をふき替え中

4月行事予定

- ◎5日(金)町常任委員会 19時半
◎7日(日)草津体協グラウンドゴルフ 草津球場 9時~ 草津体協
◎10日(水)庚午中学校入学式 9時半
◎10日(水)草津小学校入学式 10時半
◎14日(日)町内一斉清掃
◎18日(木)おれんじカフェ10時草津公民館
◎26日(金)草津東町内会 19時~ 令和6年度定例総会(規模を縮小)
●有価資源収集日:4月10日(水)・24日(水)

草津東町内会 令和6年度 定例総会お知らせ

上記の件につきまして、下記の通り開催いたします。つきましては、ご出席の方は準備の都合もありますので、各組長または区長さんまでにご連絡ください。◎草津東町内会 令和6年度定例総会 ●日時:令和6年4月26日(金) 19時より ●場所:草津東集会所ホール ●議題:1) 令和5年度決算報告 同講報告 2) 令和6年度事業計画 他 *なお 諸般の事情により簡略して行います。

この人を訪ねて#231

昭和のシトロな味を守って

居酒屋「ぎょうざの美和」店長 森松 伸吾(もりまつ しんご)さん 49歳

創業昭和38年61年目、広島・宇品で居る「ぎょうざの美和」の味を守っている二代目。大手企業就職内定を振り切った。好きな「ザーフイン」に打ち込むも、母からの一本の電話で店を継ぐ決心を。

宇品三丁目電停前

広島紙屋町西から広島港行きに約30分、県病院前から三丁目の電停・宇品三丁目で降りる。目の前に無数の提灯を下げた「ぎょうざの美和」の看板があった。久しぶりに宇品線に乗り、夕暮れ時でもあったが、車窓から見えるかつて賑わっていた商店街は「コナ横」のこともあって、灯が消えシャッター街にみえた。

そんな中、電停付近でひびきわ営業の灯がともっているのが、向かい側の中華料理の大成軒「居酒屋・ぎょうざの美和以下美和」であった。

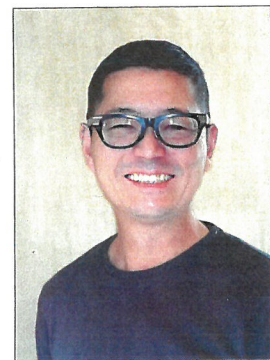
1963年昭和38年、サラリーマンであった故父章三さんが一念奮起して宇品ではなじみのなかつた「餃子ぎょうざ」を、知人の中華料理人からヒントをもらい、試行錯誤のうえ美和の餃子を誕生させた。60年を過ぎたいまも、一代目の長男 伸吾さんが、母 武子さんと共に、その伝統の「味」を守り続けている。

故祖母 ヨネ子さんは100歳の天寿を

余談だが、本誌「町内だより」のこの人を訪ねて」の3冊(2002年6月号)に、伸吾さんの祖母 故森松ヨネ子さんをインタビューしている。当時ヨネ子さんは当時89才、草津・庚午南地区母子会の会長で、お元気だった。原爆の「黒い雨」を浴びられたにもかかわらず、11年前に「100才と6時間」の生涯を終えられたと孫の森松さんは話した。第1回ヨネ子さんは100才まで生きるという伝言していったが、

内定を振り切りプロサーファーの道へ

1975年昭和50年3月に、現住所で長男第一として生まれた森松さんは、地元草津小学校、庚午中学校、観音高等学校から広島経済大学経済学部を00年に卒業。大手企業に就職内定していたにもかかわらず、サーフィンをやっている中学の同窓生が山陰・浜田に住んでおり、*サーフィンを高校時代から始め、プロサーファーになりたいとその夢を実現したと辞職した。サーフィンのメッカである徳島・生見海岸にあるプロサーファーたちのおよそ3年間修業していた。一本の電話が運命を変えた



森松 伸吾 (もりまつ しんご)

「ぎょうざの美和」：広島南区宇品御幸3-1-3 広島市西区草津東三丁目在住 1975年3月生まれ 草小、庚午中、広島経済大学経営学部'96年卒業 徳島にてプロサーファーを目指し修業 2000年初め家業を継ぐため帰広 家族：妻、長男、次女、次男、実母

プロへの道を歩むあいだ、全日本選手権大会へ2回出場も様々なコンテストに参戦。数々の優勝をほたし、スポンサーも獲得。スキルを磨くためハワイ、オーストラリア、インドネシアなどへ武者修行していき、母から一本の電話がありました。『店を助けてくれないうか』との電話でした。母と一緒に美和を経営していた父 章三さんを1994年に亡くしており、以来武子さんは店を数人のバイトとともに切り盛りしていた。

「日頃弱音を絶対吐かない母からの言葉に、いままでわたしを育て支えてくれた母からの願いに、2000年の初め、プロサーファーの道をあきらめて帰広しました」と森松さんは店を継いだ心境を話します。

*サーフィンとは：▼ウォータースポーツの一つ。別名波乗り(なみのり)ともいう。サーフボード板の上に立ち波が形成する斜面を滑走する。サーフィンする人をサーファーという。▼南太平洋に浮かぶ古代ポリネシアで漁の掃りにボードを用いて波に乗る風習があった。戦後在日米軍が持ち込み普及した。▼2021年の東京オリンピックでは正式競技となった。

必要な免許、許可書を独学で取得

店を手伝うことになった森松さんは、ずいぶの素人ではない。中学から大学卒業まで、折に触れて、店を手伝っていた。もちろんアルバイト代はきちんともらってました。大学時代は金のかかるサーフィンのためカラオケ屋も掛け持ちでアルバイトをしていました(笑)。店を継ぐにあたって森松さんは、必要な調理師(食品衛生責任者、防火管理責任者)、独学で取得した。

市場で新鮮な鮮魚や旬の野菜を仕入れ

毎朝月曜土曜日午前5時半、セリ許可番号を持って入る森松さんは中央市場で、新鮮な鮮魚、旬の野菜を仕入れる。草津東の自宅加工場で下処理加工し、風通しよく乾燥させる。食品、食材を「移動」するにも保健所の許可、免許がいるんです。

以前は母 武子さんが85才も運転していたが、足を痛め85才に近づく親父が一階に出動する。店の看板、餃子おみやげ500個は母と一緒に準備する。 「店は午後5時開店午後10時ラストオーダーは9時半まで。後かたすけや何やかで、午前様を過ぎて帰宅

し、風呂にでも入れば、寝る時間はわすかです。僕、シヨートスリーパーですから大丈夫です(大笑)」。1Fカウンター席は25名。2Fの座敷は予約制で5~15名が利用できる。

*餃子ぎょうざとは：▼小麦粉を原料にした皮で肉・野菜などを包んだ餡を包み、加熱調理方法の違いによって、焼き、水茹で、揚げ餃子と呼ばれる。▼中国大陸で紀元前6世紀ごろ、現在の山東省で誕生したといわれている。▼中国では餃子は「水茹で餃子」が主流で、皮の厚いものが主食として食べられるが、日本では主食の「飯のおかず」として薄皮の餃子が好まれ、タレに

「お客さんと会話を交わしながらも、一時も手も休めない。おすすめ料理は?」 「店ごあるもの全部がおすすめですよ(笑)」。コリコリ牛、豚のホルモンは病みつきになる。先代手作りのカウンターには、色々な雑菜が盛り沢山。全国の日本酒、焼酎も取りそろえる。将来、「東京・新宿」に出店したいですね...

1989年広島西シニアリーグ卒団式 〇内

波の上をスルカのように滑る

餃子一人前 12個税込み 700円

幼かった子ども達と母と

赤暖簾を求めて順番待ちの人達

スタッフと一緒に〇森松さん、〇おかあさん

は醤油、酢、ラー油を混ぜたものを使う。▼日本へは17世紀中国の動乱を逃れに命じた人物からたらされ、江戸時代のTVでおなじみの徳川光圀みづくに水戸黄門が最初に食べたといわれている。

「ぎょうざの美和」：餃子の専門店かと思いきや、メニューは多種多様。これはまさに「居酒屋」だ。もちろん一番の売りは一口サイズの「揚げ餃子」。餡にはキャベツとミョウガなどの野菜にニンニクやショウガ、広島県産の豚肩ロースを特注の皮で一つひとつ手作りして包み、キツネ色になるまで油で揚げる。ネギを添えた秘伝のタレで食べる。筆者も一つ味見させてもらったところ、最近はやりの羽根餃子の食感ではなく、油気の少なくサクッとした新感覚がした。花弁のように並べた12個が一人前。これだけならビールを肴にいくらでもいけそう。注文すれば、水茹で餃子もOK。森松さんによれば7対3の割合で注文がある。

餃子以外にも、刺身、あみ焼き、旬の野菜などが注文できる。前述したが、朝市で仕入れた新鮮な食材を使った料理が、毎日20種類以上カウンターに並ぶ。

森松さん曰く店のコンセプトは「アットホーム(家庭的)で、毎日来店しても飽きない」店にするよう心がけている。創業以来60年という常連さんや、独身や単身赴任の人、家族連れの人にも人気があり、口コミもあつてか最近では若いカップル、女性グループの来店が増えていると話す。

TVのグルメ番組にも登場

TVのグルメ番組にもよく取り上げられるという。お笑いコンビの「アンガールズ」をはじめ地元高もほとんど取材しており、2016年にはBS5・TBSの「吉田 類の酒場放浪記」で全国放送された。その効果でさぞお客さんが増えたであろうと聞くと、「一時的には増えますが、そんなお客さんは長続きがしません。忙しい仕事での取材には...」と言葉を濁した。

従来から値段もリーズナブル(納得な料金)にしてるが、最近では仕入値段が値上がりし、「やむを得ず値段も考えざるを得ませんね」と苦しい胸の内を明かした。

赤暖簾の「灯」を守りぬく

29才のとき共通の友人の紹介で結婚し、長男は現在在籍企業を目指して、台湾の大学に、長女は高校を出て留学中、この春から、ダンス学校オーデションに受かりカルフォルニアに来年渡米予定、次男は高校在学中。子ども達は「親父の苦労を観てますから、継いではいけませんよ」と笑。それにしては金がかかりすぎるな。これからの付近を明るく照らす赤暖簾の灯を守りたいですね。